

## 地区懇談会 会議録

1 会議の名称	第2回富津市小・中学校再配置計画（案）に係る地区懇談会（佐貫地区）
2 開催日時	平成29年5月30日（火） 午後7時～午後8時15分
3 開催場所	佐貫コミュニティセンター
4 説明事項等	・「これまでの説明会における主なQ&Aについて」の説明 ・質疑
5 出席者名	高橋市長、岡根教育長、能城教育部長、高梨教育部参事、河野学校教育課主幹、鈴木学校再配置推進室長、鶴岡教育総務課長、竹谷教育センター所長、鳩飼教育センター主幹、當眞副主幹、渡邊副主査
6 参加人数	市民27名、市議会議員9名
7 所管課	教育部学校教育課学校再配置推進室 電話 80-1155（内2155）
8 会議録（発言の内容）	別紙のとおり

佐貫地区懇談会会議録

発言者	発言内容
	進行：鳩飼教育センター主幹
能城部長	1 開会の言葉
	2 参加職員紹介
岡根教育長	3 教育長あいさつ
高橋市長	4 市長あいさつ
當眞副主幹	5 「これまでの説明会における主なQ & Aについて」説明
市民A	<p>6 質疑</p> <p>統廃合について、皆さんから意見を吸い上げてアンサーを出しているが、この間に関係者からの意見を聞いて、このように解決しようとかになっていないのか。意見ばかり聞いてその解決策を抽象的ではなく具体的に案として、4つか5つ位考えて、この意見ではこういう風に考えていますので皆さんどうでしょうかというようなことであれば、こっちの方がいいかなと思えるが、皆さんがどの程度まで、我々の意見に対して案を持っているのか。</p> <p>色々な問題もプロジェクトチームみたいにやっていると思うが、具体的なものとして、返事が全て抽象的だと思うんですよね。検討しますとか、そろそろ案というかここはどのようにしますとか、財政的なことがあるから厳しいとか、皆さんの案がまず出てくるでしょ。大体4つか5つ位にチームがまとめて、トップにこういうことではいかかがでしょうかと、予算的にこれは問題があるとか、そういうのが出せないのか</p>

鈴木室長	<p>なと思いました。</p> <p>また、佐貫中学校が大貫中学校の方へ行きますよね。それに対する通学方法はどうするのかなど、国道を少し整備して歩道を作って自転車で通学するようにするのか、ずっとスクールバスにするのか、バスにしてもずっとなので、10年20年、スクールバスを運行するのにいくらかかるのか、国道の整備するんだったらそっちの方がいいんじゃないとか、そういう案はないのかなど、ここにはそういうことはなく、危険性とかしかなく入っていないので伺いたい。</p> <p>意見をどう活かしていくかですが、まず教育委員会として今回少人数でいる学校の方が統合して、大きな人数で学習や体育や生活を送ることについての賛否を皆さんにお伺いしています。その後で我々の方で個別の計画を立てまして、具体的な案については提示をさせていただこうとしています。確定していない部分について、言えないところもあるので、検討しますという表現になっていることはお許しいただければと思います。</p> <p>通学方法ですが、スクールバスでの通学を考えております。佐貫中学校の生徒について、朝2便、帰りに2便出すことを考えています。</p>
市民A	<p>スクールバスはこれからずっとやっていく時にランニングコストはどれ位かかるんですか。</p>
高橋市長	<p>スクールバスを統合の条件としては、最初に提示すべき問題と考えています。そのコストを考えたときに、例えば学校を統合しない場合とスクールバスの単独の1年と比べて、さほど金額的には変わらないと思っていますが、教育委員会が示している通り、今の教育環境より統合した方が教育環境としては良い環境が与えられるのではないかと、それが直近で来ているのだということですので、具体的な数字としては今資料は持ち合わせていませんが、どこかで数字的にはひっくり</p>

<p>市民 B</p>	<p>返るのではないかという意見はあるかもしれませんが、目の前の子ども達のことを考えたら、スクールバスで対応することがベターではないかと考えています。</p> <p>バスの運行は、普通の路線バスだったら年間大体 1,000 万円から 1,300 万円位かかるのが相場だといわれています。完全にそれを一年間に計算すると市として 1 億円以上の出費が重なってしまう。朝 2 便、夕方 2 便という話になると、子ども達の制限として朝はいいでしょうけど、夕方のクラブ活動の話になると、そうはいかないんじゃないかなと、ここに対してやはり親御さんの送り迎えがどうしても出てきてしまうというのが地域の問題としてあるんじゃないかと。</p> <p>それと、中学校を閉鎖して学校を統合しましょうと話していますが、これはもう決定なんではないでしょうか。</p>
<p>高梨参事</p>	<p>スクールバスですが、個別の計画になったときに佐貫中学校の生徒を大貫中学校へ運ぶということについて検討していきます。今現在、天羽東中学で運行しているスクールバスについて、なぜスクールバスなのか、なぜ路線バスではないのかというと、帰りの時間を学校の都合で変えております。午前で終わりの場合や夏場と冬場ではクラブの終わる時間が違いますので、それに合わせてスクールバス、学校用のバスですので学校の終わる時間で帰りの 2 便の時間を変えております。ですから、路線バスよりスクールバスの方が子ども達、学校の運営上にとってみれば便利だということで、環小や天羽東中ではスクールバスを運用しています。</p>
<p>市民 B</p>	<p>スクールバスというのは、この地域で言うと日東交通への運行委託ということになりますよね。通常朝晩のラッシュ時というのは、ストックされているバスでの運行ということになると思うんですよね。それ以外というのは、余分にあるのであれば、別に大した影響にはならないと思うんですけど、事業者へのその辺の影響はどう考えているのですか。</p>

市民 A	天羽地区だったら既存にあると思うんですけど、佐貫の方は時間がほぼ一緒でしょ。そうすると他の車両をあてがわなきゃいけないわけですよ。そういうことに対して、事業者の方は対応できているのか。
高梨参事	運行は入札という形で決定します。今現在は天羽日東さんではありませんし、また車両は市で持っており、それを運行委託ということで契約しています。また、バスということでも、今持っている台数では足りませんので、これから2年間で検討していかなくてはならないと思います。
市民 B	天羽地区ではどれ位経費がかかっているのですか。
高梨参事	今現在での天羽東中での経費は、年間 1,156 万円です。環小と天羽東中の2校分としてです。
市民 C	それはバス代は入ってませんよね。バス代は富津市のバスですよ。
高梨参事	車両の運行全てです。車検や車の維持費等もです。
市民 A	バスだけは富津市で、運行関係は全部入札でということですか。
高梨参事	そうです。
市民 B	富津市での佐貫地区と捉えた時に行政としてみれば、どこを中心として地域をそれぞれ育てていくかということだと思いますが、この地域は国道 16 号と 127 号、それと高速道路と大きな幹線は3本でそれしかないんですね。この幹線と地域を結ぶラダー方式の路線が非常に弱い。生活用道路が非常に狭くて、むしろ通学路とするにしても歩道はない。非常に都市インフラとして貧弱な状況なんですよ。そうなってくると、富津市を今後どうやって運営していくかということが非常に大きなポイントになってくるんですけど、団塊の世代はこれから後期高齢者化、いずれいなくなるってなったときに、今の若い人達はその時代を担っていくわけですから、若い人達が住める環境を作っていくというのが行政としての本

来の役割だと思っています。ただ、今回みたいな方法を取っていくと、どんどん過疎化していってしまう。地域に利便性というのがなくなっていってしまう。前回は話しましたが、デフレと同じようなスパイラル状況になってしまうということです。若い人達が不動産を取得するときに近くに学校はありますか、保育園はありますか、スーパー、病院はありますかというのは、その不動産の価値としてあるはずなんですよね。ところが今の行政のやり方というのは地域の大事なポイントをなくしてしまっている。そうするといずれ若い人達は住まない町になっていってしまう。税金もあがらない、空き家が増えていくそういう町になってしまいますので、そういう点を大きく問題視しているんです。そこをどうやって行政が地域と一体となって地域作りをしていこうとしているのか、問いただした所なんですけども結論は出てきていません。やっぱり大きな問題だと思うんですけども、市長としての考えを聞きたい。

高橋市長

地域の利便性ということですけども、私自身もこの地域に住んで仕事に通えるとか、この地域でもっと仕事が今よりもっと稼げるということがなければ、次世代の人達に住んでくれというのは厳しいと思います。そういう意味では今市が進めている浅間山のバスストップというのは、若い子ども達、例えば大学とか専門学校だったりとか、子ども達が今よりも少しでも遠い所に通える一助にはなるんじゃないのかなと考えていますし、就職した人達も今よりも都心に通うチャンスは増えてくるんじゃないかなと思っています。

私自身教育ということに関しては、親とすれば全員が色々な考えを持っている分野だと思いますので、多くの方、100%の方に一つの考えでご理解をいただくのは非常に難しいと思っています。私自身色々な活動をする中で、富津市の各地で今の小学校の規模に不安があるんですという声があったのも

事実です。私自身思いのほかそれを多く聞いてきたので、今回の統廃合に関して教育委員会の方針に賛成したいと思ったのは、まさにその部分なんです。小さな学校が先生達の情熱と皆さんの協力によって非常に良い環境にあるという部分は否定はしませんし、確かにそういう学校もあると思っています。ただこの学校の規模では、この地域に住んでいるのが嫌なんですという人達が過去にもいたし、現在でも残念ながらそういう声があるというのも事実です。

土地を購入するときに学校であったり、病院であったり、スーパーというのは必需かもしれませんが、一つの案として、医療や介護というのは行政として可能な部分に関しては力を入れなければいけないと思います。佐貫に関しては、今回の介護事業計画の中で地域密着の老人ホームというのは、市の行政として大佐和についてそういうメッセージがあるんだろうなと私は思っています。確かに反対の意見もあろうかと思いますが、学校の統廃合というのは決して地元の元気を失わせるのではなくて、今よりも良い環境を作ることによってこの自然と学校教育が素晴らしいと評価してくる人達がいるのではないかと私は市長として思います。

市民 B

市長の考えはそうかもしれませんが、地域にとってみると不安は残ります。それは、若い人が住まなくなっているということです。富津市全体の中では、青堀、大貫、金谷という部分では、それぞれ拠点ができてきているので、それはそれでいいでしょうけど、そのはざ間の部分をどう救っていくか、どう生活環境を良くしていくかということです。富津市の保健事業、介護事業などの福祉部分も素晴らしい部分はあると思いますが、長い目を見たときに若い人達が住めるまちでなければ将来はないとみてしまいます。だから若い人達が住める環境作りというのにターゲットを絞っていただきたいというのは一つあるんですけども。

高橋市長

そういう意味では、私も賛成です。私自身色々な政策の中で子育てと教育というのは、議員の方のご理解を頂きながら、中心的に取り扱っていきたいし、そのような政策を作り上げていきたいと思っています。その中で私自身これに対しては色々な考え方があると思いますが、適正規模の学校をすることによって、例えば集中的に先生を配置して、放課後の教室でも今よりも時間を長く多く人の目で教育をすとか、教育環境という意味では学校が近くになくなってしまふこと不安などのマイナス要素がないかといえは否定はしませんが、一緒になることによって、ソフトの面では今よりももっともっと力を注ぐことができるのではないかと私自身は考えています。そういうものを売りにして若い人達に住んでもらえるようなまちを作っていきたいなと思っています。

市民D

今日来ている皆さん一人一人に聞きたいんですけど、これからの若い子達に引っ越してきてでも、ここに移住しよう、住み続けたいと思える地域を残したいと思っているようでしたら、我々佐貫地区の子ども達は太閤の方へ移動するような形になりますが、そういう地区に皆さんがもし親であったら、子どもであったら、そういう所に引っ越したいと思われませんか。その返事を皆さん一人一人から聞きたいんですけど。

高橋市長

私は金谷の出身で、金谷は統合中学です。今金谷に若い人達も移り住んできています。それはやはり金谷の自然とか若い人達が生活を立ち上げていくのに、観光客が多いとかそういう利点もあると思います。内容を充実することによって、この佐貫の自然環境であったり、また、浅間山の交通機関で非常に利便性が上がっていくというようなことを評価してくれる人達が外から来ていただいたり、また、この地域で生まれ育った子達が通えるようになったり、子どもに関しては今よりも勉強に関してもスポーツに関しても色々チャレンジする環境も整ってきたので、この地域で頑張ろうと思えるよう

	<p>なまちをつくっていきたいと思っています。そして、私自身もその考えの中で統合した方がいいんじゃないかと思いましたが、教育委員会の案に賛成で今日この場に参加させていただいてます。</p>
市民D	<p>こういう環境でこの地域に住んでみようかと思いませんか。こうしようああしようではなくて、現段階でこの状況でどんどん縮小していくような地域に対して、私はそこに引っ越してきて生活していこうと思われませんか。そのイエスとノーを皆さんに聞きたいんです。</p>
高橋市長	<p>そういう発想はいままでしたことはありませんが、今の段階ですと全く考えていなかったということが正直なところです。私よりも皆さんは佐貫に生まれ育った方であったり、お子さん達がいるとすれば、私はその縁のある方達がもし一人でも出ていっているのであれば、それを一人でも多く残ってもらえるような政策を行政としても、直近の課題としてやるべきだと思っています。そして、それと同時に外から注目されることがもしこの地域で皆さんの力を借りながら立ち上げていくことができれば、一人でも二人でもこの地域に来ていただく、これがこれから目指すべき方向なのかなと思います。全体的には高齢化社会ですから人口がこれから減っていくというのは皆さんご存じの通りですが、その中でもまずはこの地域で生まれ育った人が今より多く残ってもらえる可能性を作っていくような政策を打ち出していかなくてはいけないんじゃないかと思っています。私自身は金谷で生まれて今青堀に住んでいます、富津には住みたいなと思っていたので、市内に居を構えて、今でも生活をしています。</p>
岡根教育長	<p>私は佐貫に住んでいますので、私が一番思うのが子どもの数が少ない学校に通わせるよりは、バスを通っても大きな学校に行かせたいと思います。でも、ここには住みます。</p>
高梨参事	<p>中学生の親だとしたら、子どもがあれこれやりたいと言っ</p>

<p>市民D</p>	<p>たときに選択肢がない学校よりは子どものやりたいことを選択肢がある学校に親として通わせてあげたいなと親としては思います。</p> <p>そういう地域の学校には行けるけれども、利便性が悪くなっている地域には移住しようとは思わない。極端な話ですが、子どもというか人口が増えなければ、我々が子どもを増やしていくというのは限界があります。移り住んでいただける方が増えなければ人口は増えません。そういう計算っていうのはできているんですか。どんどん縮小していく中で便利な所へみんないきます、統廃合して再配置して子どもの数が増えたら当然みんなその学校の近くへみんな引っ越しますよ。いくら交通の便を良くしてもスクールバスを出しますと言っても、歩いて行ける距離の方がいいですよ。そういうことなんですよ。私達が心配しているのは。そういう説明が我々の方へ納得のできるようにされないの、お父さんお母さんというのは納得できない部分で反発するのだと思います。その説明がないからみんな集まって、話を聴こうと思ってるのではないですか。その答えが聞かれないから、私が今こういう質問を投げかけたのですが、まだ私の質問に答えてくれた方は一人もいません。なのでもう結構です。</p>
<p>市民E</p>	<p>自分は子どもには自分の勝手にすればいいと言っています。それは学校がなくなるからです。あと小学校もなくなるんですよ、市長も分かっていると思いますが。佐貫から学校はなくなるんですよ。金谷もなくなりますよね。</p> <p>地元と言いますが、富津市の中にはいるけど、地元金谷に帰ってないですよ。自分の子どもには絶対そういう所にはおきたくないですもんね。</p>
<p>高橋市長</p>	<p>私自身もできれば子ども達には色々なチャレンジができる学校に通わせてあげたいと思っているのは事実です。金谷に生まれて仕事の関係で大堀に今住みましたが、私自身金谷に</p>

市民 A

帰ろうかと悩んでいたことがありましたので、小さい学校の校長をしていた自分の恩師に相談もしてきました。私なりには大きな規模の学校に通わせて、競争させて、その子どもの可能性を見つけた方が自分としてはいいかなと思ったのが、自分の金谷から大堀に住み続けている一つの理由です。それが全てではありませんが、仕事上どうしても金谷から通いきれなかったということが大きな理由ですけども、大堀に居を構えたのはそういう理由です。なので、私は小さい規模の学校よりも大きい規模の学校に通わせたいと思った一人です。

私は 40 年前に佐貫に引っ越してきましたが、その時に学校を私は選びました。実家が佐貫にあるということもありますが、勤めは市原の方でした。その当時は小学校中学校も生徒数が多くて、学校が非常に荒れていた時代でした。その点、佐貫はのんびりしていていいなとは思いましたし、ここで育てたらいいなと思いましたが、それは良かったと思います。ただ、だんだん今 10 何人になっていくなんで予想にもしてなくて、これでは小中学校の統合になるかなと思っていましたが、小学校は残して中学校の統合となり、また小学校はなくなるんじゃないかと、あれだけの校舎があつて、ちょこっとなかなかないもので、私も親がいるから住んでいるようなもので、車が運転できなくなったら青木の方に引っ越さないといけなかなと、店屋がある方に引っ越さないといけなかなと現実には思っています。あと 10 数年後自分にそれがやってくると予測しています。子どもは自分の仕事の関係で他市に家を建てて住んでいて、みんな出て行ってしまっています。70 近くの老人と 90 近くの老老介護状態です。そうなると車が運転できるまでは住めるけれども、できなくなったら佐貫には住めないということです。住めないと思ったら負の連鎖が始まる。私個人で思っているということは他の人も、なんらかのしがらみで佐貫にいるという人はいるんじゃないですか。

今子どもには負の遺産を受け継がせなくてはいけない、何十年分の固定資産税を払ってみてもらうとか売却してしまうなど今の私の年代でそう考えています。今市長が言われたように当座はこうしなくてはいけない、統合しなくてはいけない。でも、この先を考えるブレーンはいないんですか。今は統合をカンフル剤として考えるのが妥当じゃないかと、でも、あと 10、20 年先のこの地区をみてみたとき、今までほっといたからこの地区はそうなったんですよ。やっぱりここが起爆剤になるような方法も考えていただければと思います。ブレーンをつけなくては未来プロジェクトはできないんじゃないかなと思います。10 年位は何とか持つかもしれない、その先は持たないかもしれないと思っています。

岡根教育長

この適正というかある程度の規模を作らなくてはいけないというのは、急を要する問題だと思います。それだけ少なくなってきたしまっているというのは実態なんですね。いくつか質問に出っていますが、佐貫小もなくなるのではないかとということと天羽中も一クラスになってしまう可能性があるのではということですが、考え方とすればそのまま続けばだと思えます。私達の考えは小学校は「小学校は複式学級を解消すること」、「9 か年同じクラスはやめましょう」という中学校の再配置です。ただ学区は広くて、天羽中と天羽東中だけで富津市の 7 割位の学区になってしまうので、そこからまた学校を寄せるといのは不可能に近いなと思っています。

私達が言いたいのは 2040 年までの人口ビジョンが作られていますが、これは減っていくような見通しです。その中でどれだけ減りを減らしていくかは、今まで議会や執行部の方でも考えて、人を増やしたりする方策はとってはいます。ただ、0 歳までの数で見ると早めにそういう対応をしないと、子ども達の環境的には厳しいものがずっと続くとそういうことをまず認識していただいて、再配置については考えていっ

	<p>てほしいなと思います。是非賛成していただければ、先ほどのスクールバスの話も含めてどんどん提案させていただきますということです。ただ、保護者からはスクールバスの交通とかどういうルートかというのはやはり早めに出してほしいということで、皆さんに出していっているような状況です。</p> <p>何はともあれ、この子ども達の数と学習環境については、今回のこの再配置案について地区の住民の方々にも歴史と伝統のある学校がなくなるというのはどうなのかというのにご理解を頂いて、具体的な対応していききたいということです。40年位前とは比べものにならない位、子どもの数は極端に少ないのが実態ですので、それをどう改善していくか、バスで学校まで30分というようなことは、この前に不動産屋さん聞いたならそれは人が集まるのには致命傷ですといわれたんですけど、通っていくことについては中学校はここに通うよということで、どっちの近くに住むか住まないかというのは選択になるというのは事実だと思います。教育委員会としては、まずこの環境を作ることにご理解を頂きたいというのが切なる願いです。よろしくお願ひしたいと思います。</p>
市民C	<p>佐貫の人が大貫に行きますよね、そのうちに湊が少ないから湊に行くとか、大貫も湊に行くとか、富津市の中で中学校が2つになるとか、前回はないといていたけど、クラス替えがずっとできない状態なんじゃないかなと思って。</p>
岡根教育長	<p>先ほどの結論に出していますが、天羽地区は7割を占める学区であるので、それをこっちにもってくるのは大変だろうと思っています。</p>
市民C	<p>こっちから向こうに行くということは。</p>
岡根教育長	<p>可能性はないとはいえません。</p>
市民C	<p>そのうちなるかもしれないですよ。</p>
岡根教育長	<p>それはないとはいえませんが、今回の計画では佐貫中と大貫中の統廃合という形をとっています。これから先のビジ</p>

<p>市民 C</p>	<p>ョンの中でも校舎のありようの問題とか人の動きの中で出てくるんだと思いますが、今現実の数でいったら中学校については、この3校でやっていくという考えです。</p> <p>子どもが何人生まれてとというのは分かっている、これからどんどん減って行って、やはりずっと一クラスになってしまう、そうすると湊と天羽の方へいった方が二クラスできるからそうなるのではないのかなと思って。青堀の方は増えているからいいんですけども、こっちの方はあっちが足りないからこっちにと、たらい回しになると思うんですよ。</p>
<p>岡根教育長</p>	<p>先ほどの回答のとおりです。</p>
<p>市民 A</p>	<p>目先のことだけではなく、ビジョンだと思うんですよ。人口動勢は見ているわけですから、ある程度予測というか、減るのを減らす、そういうものを設けたら、それに向けて対策を持っていかないと、今はもうどうしようもなく、今回はカンフル剤として考えていますとのことだと思います。でも、10、20年後まで考えている人はいるのか。今まで問題があるといわれてきて、小中の統合かなと思っていました。そうしたら中学校の統合となってきた。3年後に統合したらその後何年持つのか、今は問題があるから問題解決のためにやられていると思うんですけど、でも、その先のことを短期的には5年、長期的なものは10年、15年と、会社だとしたらその在り方とかそういうことを立てているんですよ。それは予測として、ここでは問題があるからその何年か前から対策を打たなくてはいけないとか、そういう問題意識を持っている人が富津市の部長や課長の人にどれ位いるんでしょうか。市長は若いからいいけれども、先のことでも考えてもらいたい、考えなかった結果がこうだと思うんですよ。前から佐貫はだんだん、店がなくなったりして、これはダメだなと思いましたよ。自分が車の運転できなくなった後のことを考えているように、子どもをまたここに住ませるときにここには車</p>

	<p>が運転できる 40 年しか住めないよと、車が運転できなくなったらここは不便だよと、現に引っ越ししていった人はいるし、根に深い所はそこがあるんじゃないかな、佐貫についたら何もしなかった結果がこうなんだと思う。何も文句を言う人がいなくてこうなったということですよね。それが富津市全体に広がったから、それはしょうがないかなと思いますよね。反対賛成ではなく、これから先のことを皆さんに考えていて欲しいなと思います。</p>
市民 C	<p>前回に言った大貫小学校の不安な所は見てもらえましたか。</p>
鈴木室長	<p>見ました。</p>
市民 C	<p>U字溝は蓋が開いたままですよ。</p>
鈴木室長	<p>そうですね。</p>
市民 C	<p>スクールバスが通る所は、歩道は設置するのか。大貫小の周辺は歩道がないんですよ。</p>
能城部長	<p>道路については、国道、県道、市道と分かれていて、各担当している持ち場がありますが、富津市では市道の管理をしています。今言われていることは県道の所だと思うんですけど、なかなか県もそういう所を一気にこちらが要望したとおりにやっていただけるかといったら難しいと思います。</p>
市民 A	<p>県の金でやるからそうなんだよ、市の金を出すからやらせろと言ったら済む話じゃないのか。</p>
市民 C	<p>大貫中は裏から来る堰がある方も歩道がなくて、自分が小型バスで通ったときにすれ違いなくて、それが通学時間に当たると歩道がないのでちょっと危ないかな、それは検討といっているけど、やるとかやらないとか言っているけど、結局やらないんですよ。前回もいいましたが吉野の道についても、草刈りしていないと危ない道で、歩道がないから車道を歩くようになって、そこにスクールバスが通ると危なくて、そういうことも考えているんですか。そういうのを全部やります</p>

<p>岡根教育長</p>	<p>って行って、やるからこういう風にしますというのならわかるけど、後から皆さんの要望を出してくださいって、自分達は学校をまとめることしか頭がないからそれに対して、佐貫は子どもが少ないのはわかるんですけど、しょうがないと思うんですけど、それに対して子どもの安全面をやるべきだと思います。</p> <p>今スクールバスが通るから安全面とのことですが、基本的に今通っている子ども達の安全というのは、常に我々は考え、要望の中で考えながら動いています。それがスクールバスが通るから危ないから統廃合は認めないというのは、どういうことでしょうか。統廃合についての基本的な考え方についてはご理解していただいていると判断してよろしいですか。</p>
<p>市民C</p>	<p>それはやるといって、安全面は後からというのはおかしくないですか。</p>
<p>岡根教育長</p>	<p>今の話だと大貫小学校や吉野小学校へ通っている子ども達の話ですよ。</p>
<p>市民C</p>	<p>それもあるし、それによってもしスクールバスに乗っている人が大変だと思って。スクールバスで急に飛び出してきたら危ないでしょ。</p>
<p>高橋市長</p>	<p>スクールバスの運行に限らず、通学路に関してのもっと通学路としての安全を確保したものにしろという要望は、毎年PTAの方々からの意見は頂戴しています。少しずつでも今よりも良くしようと取り組んでおりますけれども、それを大貫中学校の周辺を一気に直すことが可能かといわれると、申し訳ありませんが、一度に全てを直すというのはできません。ですが、その中で運行に関してもしっかりと会社へ運行してもらい、同時に子ども達の安全が守られるようなこれまでの取組みを継続することによって、通学の安心を守っていききたいなと思っています。例えば危ない所で子ども達が乗り降りをするということは考えていません。今の意見は歩いて</p>

市民 B	<p>登校している子ども達の安全についての意見だと思いますが、それに関しては運行する会社に対してしっかり指導もしますし、また、通学に関しても子ども達へ学校の方でしっかりと指導しながら安全を守っていきたいと思っています。もちろん市としてできる所の道路の改修というのは、進めているつもりでありますけれども、財源の限りがありますので、各地区で少しずつの取り組みとなっているのが現状です。安全には十分に配慮しながら進めていきたいと思っています。</p>
市民 B	<p>それは当たり前の話ですよ、今皆さんの言っていることは、この地域の問題点ということで、統合の話を我々がしようがないよねとなった時にそれで終わってしまう訳ですよ。そうじゃなくて、地域のために行政がどういうことができるのかというところを問うてる訳ですから、通学路の整備をしていきましょうよ。それは何年かかるかわかりませんが、5年、10年でできる話じゃないかもしれない、でもやりましょうっていう返事が欲しいんですよ。</p>
高橋市長	<p>毎年要望を頂いて、少しずつ、ある部分では目にするのにも気づかない程度かもしれませんが、改善はさせていただいています。例えば停止線を引いてくれという声があれば、県とも協力していち早くできるようにやっているところですし、また、道路に歩道を作れということは正直市にとってみれば大きい仕事になりますが、それも可能な限り、時間をかけてでも取り組んでいかないといけないと思っています。決してあきらめているとか、そういうことはありません。通学路であると同時に市民の皆さんが使う生活道路ですので、そういう改良というのはあきらめずに少しずつでもやっていかないといけないと思っています。</p>
市民 B	<p>そうしたら、市の5か年なり、長期計画なりでその辺を佐貫地区の問題として、地区計画じゃないけど、計画をリアルに我々市民の方に提示してください。</p>

高橋市長

道路の計画というのは、建設も改良も含めて計画は持っています。5年間の中というような時間のスパンはさておき、道路の改良はしていかないといけないと行政として当然の考えです。5か年計画の中で目に見えたものが、地区ごとや佐貫地区であるかといわれれば、これははっきりとお答えはできませんけれども、道路計画などの計画として大きいものに関してもしっかりと示していきたいと思っています。

こまかな修繕等というのに関しては、例えば子ども達が歩いていて、足をくじきそうになる位、舗装が崩れてしまっているというのはもちろんその場その場で対応していきたいと考えています。

市民E

日本創成会議で出された2040年問題で、富津市の人口予測はかなり厳しい数字が出ています。その根拠となるのが出産適齢期の女性の数から計算をしたということですが、そういう意味ではこの統廃合の問題も、まだまだ今回の件も含めて、途中経過かなと思います。そこでそうならないような施策を是非お願いをしたいなと思います。

今回の件で佐貫中が統合されることは、実質吸収に近いのかなと思いますが、そうならないようお願いをしたい。これは教育活動を行っていく上でご配慮をお願いしたいということです。大貫と佐貫が一緒になる場合、それぞれの文化は大分違うと思います。そこら辺の文化が上手く調和をとれるようお願いしたいなと、とかく小さい方の立場は消えてなくなるということがないように、先人が築いてきました歴史や文化というのを子ども達にも上手く伝えていけるような努力をお願いしたいなという思いがあります。

それから通学路の問題です。スクールバスで対応されるということでもありますけれども、中学生になると部活動であるとか教育活動の幅が広くなると思いますので、時には自転車で通学することになるということも考えなければいけないと

	<p>思います。そういった際に交通安全の問題、女子生徒の場合は痴漢行為とか色々と心配な面もありますので、そういう防犯の面もご配慮いただきたいです。</p> <p>今は原理原則を持って、方針を進められていると思いますが、結論が出たらどこかの地区で分校が残ったとかがないように、やるならば原則はしっかりと守っていただきたいと思います。それで、例えば今後の課題になるかもしれませんが、現在 I T 技術が非常に進んでいるわけです。上手くその I T 技術、通信を利用した、通信性の良さを利用して、佐貫中が残されるならば、先生の数も少なくても済みそうですし、そういうどこかの外国の国がやってそうな、そういうような方法を可能性があるならば検討してもらえれば、一つの富津方式として逆に P R できるんじゃないかと思います。いずれにしても難しい問題だと思います。完全な方法はないと思いますが、みんなの元気がなくなるように調和をとりながら進めていただければと思います。</p>
岡根教育長	<p>国際交流的に I T を使ってというのは、可能かもしれませんが大貫中と佐貫中を結ぶ通信教育ということについては、逆にいえば子ども達自身が集えることが意味がありますので、そこにいてどうこうというより、たまにはいいかもしれませんが、絶対的には常に同じ学校の学び舎にて意見交換をしたり、たまには対立もしたりという取組みが子ども達にとって非常に大事だと思っています。他の学校との通信という取組みはあるかもしれませんが、佐貫と大貫の通信教育というのは、なかなかイメージが作れないかなと思います。</p>
能城部長	7 閉会の言葉